

しだ 志太広域都市計画事業 藤枝駅南地区土地区画整理事業

受賞機関 藤枝市

はじめに

藤枝市は静岡県の中央部にあり、静岡市の西へ約20kmに位置し、市内をJR東海道本線、国道1号、同バイパス、東名自動車道が通過する。

市域は、南アルプスに連なる赤石山系の南麓に位置し、大井川の扇状地による志太平野に市街地を有する。温暖な気候と豊かな自然に恵まれ、面積は140.74km²。

藤枝市は、県下の中堅都市、周辺市町の中核都市でありながら、道・水路等未整備のまま宅地開発が急激に進行し、効率的な土地利用がなされないまま、スプロール市街地の様相を呈していた。

このため、周辺市町からの乗降客も多い都市の顔とも呼ぶべき藤枝駅南口を拠点とした整備が求められていた。

事業概要

事業名：志太広域都市計画事業
藤枝駅南地区土地区画整理事業

事業期間：昭和58年～平成14年

事業区域：423,789.94m²

駅前広場：6,006.74m²

都市計画道路：16路線

近隣公園：15,379.54m²

平均減歩率：19.99%

事業費：18,777百万円

事業の特徴

昭和50年藤枝駅南口の開設と同時期に区画整理事業調査を実施し、昭和57年都市計画決定にあたり、市施工区、組合施工区に分割し、昭和58年8



藤枝駅南口広場



藤枝駅南口広場の植栽



藤枝駅南口広場の藤棚と非核都市宣言モニュメント

月に着手した。

事業区域は、JR藤枝駅南口に接し、JR東海道本線から南側で、東西は都市計画道路を境とし、南は、藤枝駅南第一地区土地区画整理事業（組合施工18.3ha）及び藤枝駅南第二地区土地区画整理事業（組合施工16.4ha）の区域境とする面積約42.4haである。

施工にあたって、昭和58年8月に着手し、駅前広場、都市計画道路、近隣公園、歩行者専用道路、水路等を整備し、この間、社会・経済情勢の変動により事業推進に影響を受け、幾多の苦難を乗り越え、駅南地域の約77.1haを一つの施工区域と考え、一体となって整備を図り、相互に連携、協調して取り組んだことが、ほぼ同時期に三地区が着工し、円滑に促進、収束したものである。

区域内はもとより、周辺の主な公共施設、公園等を歩行者専用道路で結び、人が安全に歩いて行ける工夫をしている。

これからも21世紀に相応しい「人・まち・自然が美しく夢と活力あふれる文化の都市」藤枝市の実現に向け、都市環境整備を推進することとしている。